

洛和会音羽リハビリテーション病院

地域連携 NEWS 2026

Rakuwakai Otowa Rehabilitation Hospital
vol.40

〒607-8113 京都市山科区小山北溝町32-1 TEL 075 (581) 6221(代) FAX 075 (581) 6110 <https://www.rakuwa.or.jp/otowareha/>



リハビリテーション科 より

脳卒中相談窓口について

洛和会音羽リハビリテーション病院 よこやま まさと
リハビリテーション科 部長代行 **横山 雅人**

専門分野 リハビリテーション科

専門医認定・資格など 日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医
日本脳神経外科学会脳神経外科専門医



脳卒中の症状は言語障害（構音障害、失語症）、嚥下障害、
視野障害、半側空間無視、四肢のまひ、失調など多岐に渡り
その程度はさまざまです。病期は急性期、回復期、生活期に
分類されますが当院では主に回復期、生活期の診療を担当
しています。

私が勤務する回復期病棟では、急性期から生活期への
橋渡しの役割を担い、患者さんごとの症状、退院後の生活
背景に応じ、オーダーメイドで退院後の生活調整を進めて
います。しかし、その過程で脳卒中患者さんとそのご家族に
とってさまざまな問題が生じます。そこで当院では、脳卒中
で当院に入院された患者さん、ご家族を対象に医師、看護師、
薬剤師、リハビリテーション療法士（理学療法士、作業療法士、
言語聴覚士）、医療ソーシャルワーカー（MSW）、栄養士など
からなる脳卒中相談窓口を立ち上げました。

こんな
お悩み・お困り事に
対応しています

- 脳卒中の治療・再発予防
- 脳卒中の後遺症・合併症
- 脳卒中治療薬
- 日常生活での食事・排せつなどの介護
- リハビリテーションの継続
- 介護保険・患者会など社会資源の活用
- 装具の不具合 など



疑問に思われることがありましたら
遠慮なくお尋ねください。

脳卒中相談窓口

TEL 075(593)6221(代)

脳卒中相談窓口へとお伝えください。



着任のごあいさつ



洛和会音羽リハビリテーション病院
在宅医療支援センター 医員
おお た たか こ
太田 隆子

麻酔科医として大阪や京都の病院に勤務していた時に、自宅でがんを患った父をみとりました。その経験から、緩和医療や在宅医療の大切さを強く感じるようになりました。そして新たな学びを志し、洛和会音羽病院 総合内科、緩和ケア内科の研修を受け、縁あって4月から当院に着任いたしました。還暦という人生の節目を迎えましたが、医師として学ぶべきことは多く、日々初心を忘れることなく研さんを重ねていきたいと思っております。患者さん一人一人の生活や思いに寄り添える医療を心がけ、地域の皆さんのお役に立てるよう尽力してまいります。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

本年4月に着任いたしました、辻本と申します。これまで伏見区の地域医療を担う病院において、プライマリ・ケア領域の外来診療に加え、急性期から回復期にかけての入院診療、居宅・施設への訪問診療に従事してまいりました。今後は、入院診療を主に担当させていただきます、患者さんやご家族のご意向を尊重しつつ、各ライフステージにおける課題に真摯^{しんし}に向き合っていきたいと存じます。関係機関の皆さまと緊密に連携し、リハビリテーション目的の入院やレスパイト入院を安心してご利用いただけるよう努めてまいります。至らぬ点もあるかと存じますが、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



洛和会音羽リハビリテーション病院
内科 医長
つじもと えみ
辻本 絵美



地域連携課より

当院は「在宅療養あんしん病院」

京都府在住で療養中の高齢者(65歳以上の方)が体調を崩し、在宅での対応が困難になった場合のスムーズな受け入れ体制を整えています。早期対応により、病状の悪化や体の動きの低下をできるだけ防ぎ、在宅生活の継続を支援します。**必須である患者さんの事前登録には地域のかかりつけ医のご協力が必要です。**ご希望の患者さんがおられましたら、早めのご登録をお願いいたします。

転院・入院のご依頼はこちらから

詳しい内容はホームページを
ご覧ください



洛和会音羽リハビリテーション病院
地域連携課

連絡先

TEL **075(581)6868 (直通)**
FAX **075(581)6110**

業務時間

●月～土曜日 **午前8時30分～午後5時15分**

紹介予約(医療機関様専用)

●月～金曜日 **午前8時30分～午後7時**

●土曜日 **午前8時30分～午後5時15分**